

経営支援員と二人三脚



55人の経営支援員は地域の小規模・中小企業の経営改善と持続的発展に向け、支援を行っています。経営者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、課題の解決とさらなる発展に向けた支援活動を展開中。

お母さんの愛情たっぷり水餃子を たくさんの人に届けたい

補助金で経営課題解決の第一歩

ハルビン出身のお母さんが始めた水餃子のお店が四条東洞院に移って15年、今では水餃子と中国北方料理のお店として知られるようになりました。多くのお客様にご来店頂いていましたが満席のためお断りすることも多く、せっかくの営業機会を逃していました。また、水餃子は外販もしていましたが企業としてのステップアップを考えると、多くの経営課題が見えてきました。ビジネスチャンスを活かすためにも店舗の改装や生産設備の投資が必要だと考えていたところ、京商の支援を得て補助金を活用することができました。店舗はお子様連れでもゆっくり食事ができる半個室の席を増やしたほか、お店の前面をガラス張りにして入りやすい雰囲気にするなど、店舗イメージの刷新に取り組みました。店舗改装後は若いカップルや個室を使った商談の利用が増え、従来と異なる新たなお客様も増えました。また、店舗改装と合わせた設備投資で、これまで手作業で行っていた野菜の洗浄やカットなど食材の仕込みを機械化することができ、厨房内での作業効率を高めることができました。

サービスを充実させ利益率を向上

適正な利益を確保し、それを従業員にどのように還元していくか…経営支援員のアドバイスを受けながら、リニューアルオープンに向けてメニュー構成や原価率の見直しを行いました。サラダメニューを増やしたり、名物の水餃子をお手軽に楽しんで頂けるセットメニューを用意するなど、お値打ち感のあるメニューとサービスの提供に取組み、お客様には今まで以上に満足頂けるようになりました。

また、昨年の夏には、バイヤーとのマッチング商談会に向けて、経営支援員と一緒に自社と商品のPR文章を作り上げ、新たなバイヤーとの取引を獲得することができました。私たちが考えていることや目指していることをしっかり理解した上で、適切にサポートしてくれるのでたいへん助かっています。これからも私たちの成長に応じて京商の支援メニューをうまく活用することで、経営課題の解決や商機の拡大につなげていきたいと考えています。

店舗の改装をきっかけにお店の魅力を伝えるホームページを作成しましたが、そこでも経営支援員からのアドバイスや補助金活用の支援を得ることができました。今後は、オンライン販売やカタログ販売などの外販にも力を入れ、自慢の水餃子を全国に広めていきたいと思っています。



代表 三原 伸子さん(左)
母 恵子さん(右)

企業概要



行列ができる水餃子と中国北方料理の専門店。お母さんが本場の味を伝えたい一心で心を込めて作り上げました。自慢の水餃子は皮から手作りするもちもちの食感が魅力。噛むとジュワッと口の中に旨味が広がります。そのほか中国東北方の名産品、干豆腐の料理など、ここでしか楽しめないメニューも揃えてお待ちしております。

楽仙樓株式会社

代表者／三原 伸子

住 所／京都市下京区東洞院通四条下ル元恵王子町37 豊元ビル1F

T E L / 075-351-4900 U R L / <http://www.rakusenroh.jp>

<http://rakusenroh.shop-pro.jp>